

OWNER'S
GUIDEBOOK

AQUOS zero2 SHV47



まずはここをチェック！

AQUOS

スマートフォン・携帯電話AQUOS公式サイト

スマートフォンAQUOS

検索



※ QRコードを読み取ったサイトへのアクセスにはパケット通信料がかかります。

PHOTOSHOW

AQUOSのカメラを使った撮影の
テクニックや作例を公開しています。

PHOTOSHOW

検索



※ご利用にはパケット通信料がかかります。

エモパーク
EMOPARK

公式エモパー情報サイト「エモパーク」
エモパーの使い方や、アップデート情報、
よくある質問などを掲載しています。

エモパーク

検索



※ご利用にはパケット通信料がかかります。

■「AQUOS/アクオス」「エモパー/emopa」「AIライブストーリー」「AIライブシャッター」「ドラマティックワイドカメラ」「AQUOS Beauty」「リッチカラーテクノロジーモバイル/Rich color technology Mobile」「COCORO EMOPA」ロゴ、「AQUOS」ロゴ、「AQUOS zero2」ロゴは、シャープ株式会社の登録商標または商標です。■ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。■ QRコードは株式会社テンソーウェーブの登録商標です。■ 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。■ 「4G LTE」のサービス名称は、国際電気通信連合(ITU)が「LTEを「4G」と呼称することを認めた声明に準じておられます。■ USB Type-CはUSB Implementers Forumの商標です。■ Google, Android, Google Play およびその他のマークは、Google LLC の商標です。■ Hi-Res Audioロゴ、Hi-Res Audio Wirelessロゴは、日本オーディオ協会の登録商標、または商標です。■ LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。■ Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Vision、およびダブルD記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。■ 本ガイドブックに記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。■ 掲載した商品・サービスは性能・機能向上や内容拡充のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。■ 画面はハメコミ合成でバックライト点灯時、ナビゲーションキー非表示のイメージです。■ 掲載した商品写真は、印刷のため実際の色と異なる場合があります。■ その他掲載の商品および機能などの名称はそれぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。■ 記載内容は2019年12月現在のものです。

SHARP

Be Original.

AMS1705 2001 AQUOS zero2 ガイドブック

au

OWNER'S

GUIDEBOOK

HOW TO USE THE CAMERA, DISPLAY AND SOUND

AQUOS zero2 SHV47



SHARP

Be Original.

購入者特典
数量限定

OWNER'S
GUIDEBOOK

HOW TO USE THE CAMERA, DISPLAY AND SOUND

contents

camera

2つのメインカメラの違い	8
AIが撮りたいものに合わせて調整	10
遠近感が誇張される広角の写真	12
加工アプリ感覚で色や質感を調整して自分好みに	14
シャッター速度を遅くして光を流す	16
ピンぼけしない夜景撮影	18
薄暗い場面でもブレずに撮れる	19
大きなぼけを作るには標準カメラで思い切り近づく	20
背景がぼけない広角カメラは手前をぼかす	21
背景をぼかしたポートレート	22
メイク感覚のAQUOS beauty	23
動画を撮りながら AIが写真を自動撮影	24
録画が終わるとダイジェストが自動的に完成	24
カメラマニュアル	26

display
&
sound

自分に合った画面操作に	31
動画観賞に適した設定に	32
ゲーミングメニューと設定	33
写真の加工や編集などに適した設定	34
逆光や日差しの下でも画面を見やすく	35
就寝前や目の疲れが気になるときに	35
画面をなぞるだけでスクショ	36
長いページをらくらく流し見	36
画面内指紋認証で安全にすばやくロック解除	37
見やすくバッテリー消費もおさえられる	37
スリープ状態でも時刻を表示	38
縦スクロールのみのかんたん操作	38
Dolby Atmos®	39
イヤホンや周辺機器を接続する	40
大画面のテレビなどに画面を映し出す	40

other

データのバックアップと引き継ぎ	41
使いこなしに役立つ情報	41
AQUOS zero2についての質問	41
スマホの調子がおかしいと思ったら？	41



Shoot with AQUOS zero2

26 mm, ISO:50, Shutter Speed:1/97 秒



18 mm , ISO:50 , Shutter Speed:1/1075 秒

▲ 広角カメラ

超広角でしか撮れない写真がある

アクションカムで撮ったような、ゆがみをいかした臨場感が得られるのが、視野角の広い広角カメラ。広角レンズは樽型にゆがみ、遠くのものを小さく、手前のものを大きくします。この特性が、遠近感や臨場感を演出します。また、広角カメラは、インカメラと同じ固定焦点。オートフォーカスと違い、一定の距離でピントが合うため、ピンぼけの心配がなく撮影できます。





標準カメラ

質感をいかしたい花や料理などは
撮りたいものに思い切り近づける標準カメラで

標準カメラは、遠くから近くまで、撮影距離を選ばず使用できます。レンズが明るく、光学式の手ブレ補正の効果もあり、薄暗い場面に強いのも特徴です。人物をはじめ、近づいて撮ることが多い料理、質感やディティールをいかしたい花などを撮るのにも適しています。また、背景をぼかした写真を撮りたい場合にも、標準カメラを使用します。



26 mm , ISO:125 , Shutter Speed:1/25 秒



26 mm , ISO:50 , Shutter Speed:1/128 秒

2つのメインカメラの違い

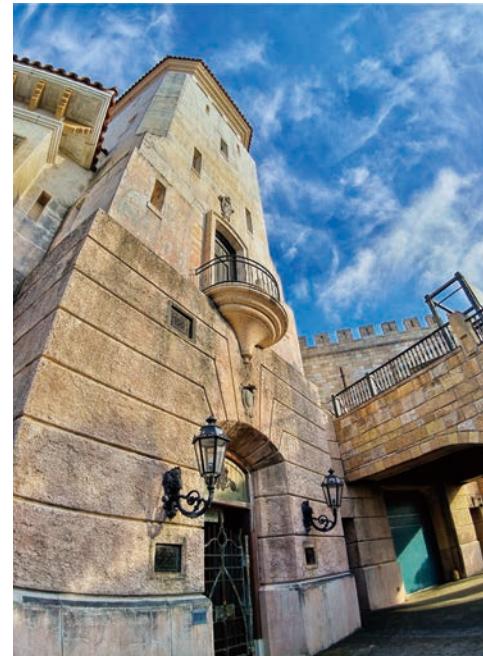
ホーム画面 > カメラ



← 標準カメラ →

← 広角カメラ →

撮影範囲の違いだけでなく、撮るものに近づける最短距離が大きく異なります。広角は風景や建築物、広々撮りたい室内、花火など、標準は、接写から遠景までの全域、人物や近づいて撮ることの多い料理、花などを撮るのに適しています。また、思い切り近づける分、背景をぼかした撮影が可能です。



125° 超広角レンズ



画素数：2,010 万画素

F/2.4 18mm 35mm 換算

固定焦点 (Deep Focus)

電子式手ブレ補正



78° 広角レンズ



画素数：1,220 万画素

F/1.7 26mm 35mm 換算

オートフォーカス

光学式手ブレ補正



標準カメラ 広角カメラ

AIが撮りたいものに合わせて調整

撮りたいものにカメラを向けるだけで、被写体や場面に合わせて画質や設定を調整する「AIオート」。AIが認識するものは、「人」「犬」「猫」「料理」「花」「夕景」「花火」「QRコード」「白板」の計9種類です。例えば、AIが「料理」を検知すると、彩度と明るさを調整し、色鮮やかに撮れます。QRコードに関しては、AIオートの他に、オート、マニュアルでも認識します。



被写体認識前



AIが被写体を認識：料理

point

ご購入時は「AIオート」

ご購入時の撮影モードは「AIオート」になっています。

画像メモにも便利

書類などを斜めから撮影しても、正面から撮ったように補正してくれます（白板）。

Google レンズ™

撮影画面にある アイコンから、画像検索を行う Google レンズを起動できます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

＊ 撮影可能なモード：AIオート

＊ 作例で行った調整・操作：AIが被写体を検知して明るく撮影

＊ 作例のカメラ設定：写真サイズ（標準：12.2M）／オートHDR（オン）





18 mm , ISO:320 , Shutter Speed:1/15 秒

広角カメラ

遠近感が誇張される広角の写真

視野角の広い広角カメラは、全身を撮る人物や風景に適しています。四隅にかけて、直線的なものを入れ、手前から奥に向けて伸びるものを写すと、広角カメラの特性をいかした写真が撮れます。風景や建築物、室内などは特に効果的です。



広角カメラ



標準カメラ

point

スマホの角度でゆがみをコントロール

広角レンズは樽型にゆがみます。撮るものに対してのレンズ位置や角度が変わると、写り方が変化します。スマホの傾け方によって、より大きくゆがませたり、逆にゆがみの少ない写真を撮ることもできます。



スマホを下に向ける



スマホを水平垂直の状態に



スマホを上に向ける

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード : AIオート／オート／マニュアル

* 作例で行った調整・操作 : マニュアル(彩度:0／コントラスト:7)

* 作例のカメラ設定 : 写真サイズ(広角:20.1M)／オートHDR(オン)





26 mm , ISO:50 , Shutter Speed:1/90 秒

標準カメラ 広角カメラ

加工アプリ感覚で色や質感を調整して自分好みに

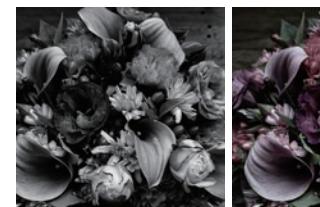
マニュアルでは、カメラの知識がなくても、加工アプリのように自由に設定できます。夕焼けの赤みを強調したい場合に効果的な **WB** (ホワイトバランス) は色を、料理や花、風景の印象をよくする鮮やかさを調整できる **彩度** (彩度) など、自分の好みや撮るものに合わせて自由に調整できます。



ホワイトバランス: オート



ホワイトバランス: 7400



彩度: 0 / コントラスト: 7



彩度: 3 / コントラスト: 7



彩度: 7 / コントラスト: 7

point

設定は次回もそのまま

一度調整したら、カメラを再起動しても、そのままの設定で撮影できます。

ピントと明るさを別々の場所に合わせる

画面をタップすると、明るさを決める場所とピントを合わせる場所を個別に決められる「個別AE/AF」が使用できます(広角は明るさのみ)。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード : マニュアル

* 作例で行った調整・操作 : 彩度(上:5/下:0)コントラスト(上下とも:7)

* 作例のカメラ設定 : 写真サイズ(標準:12.2M) / オートHDR(オン)





26 mm, ISO:50, Shutter Speed:2/1秒



26 mm, ISO:50, Shutter Speed:1/1秒

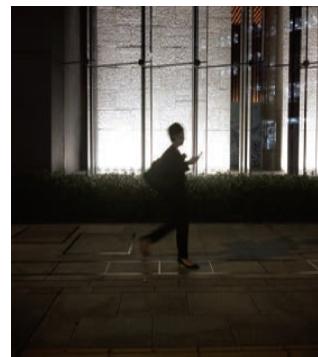
標準カメラ 広角カメラ

シャッター速度を遅くして光を流す

◎シャッター速度を遅くすると、光の残像が撮れます。まずは、自分は動かずに、車などの光の残像を撮ってみましょう。シャッター速度を遅くする撮影では、三脚や近くにある手すりや壁などを利用して、カメラを固定しましょう。また、ジンバル(電動スタビライザー)を使った撮影もおすすめです。



シャッタースピード：2秒



シャッタースピード：1/25秒

point

本格的なマニュアルの撮影画面

オートやAIオートと違い、水平・垂直の2軸の水準器が表示されます。また、明るすぎて白とびしている部分と、暗すぎて黒つぶれを起こしている部分がゼブラ状に表示(撮影した写真には写りません)されるなど、マニュアルならではの撮影補助表示機能が備わっています。

フラッシュは使わない

夜景撮影でのスマホのフラッシュは、「百害あって一利なし」。フラッシュの設定は、基本的に解除しておきましょう。使わない方が自然な明るさで撮れます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード：マニュアル

＜ * 作例で行った調整・操作：シャッター速度(左ページ上：2秒／下：1秒)

* 作例のカメラ設定：写真サイズ(標準：12.2M)



広角カメラ

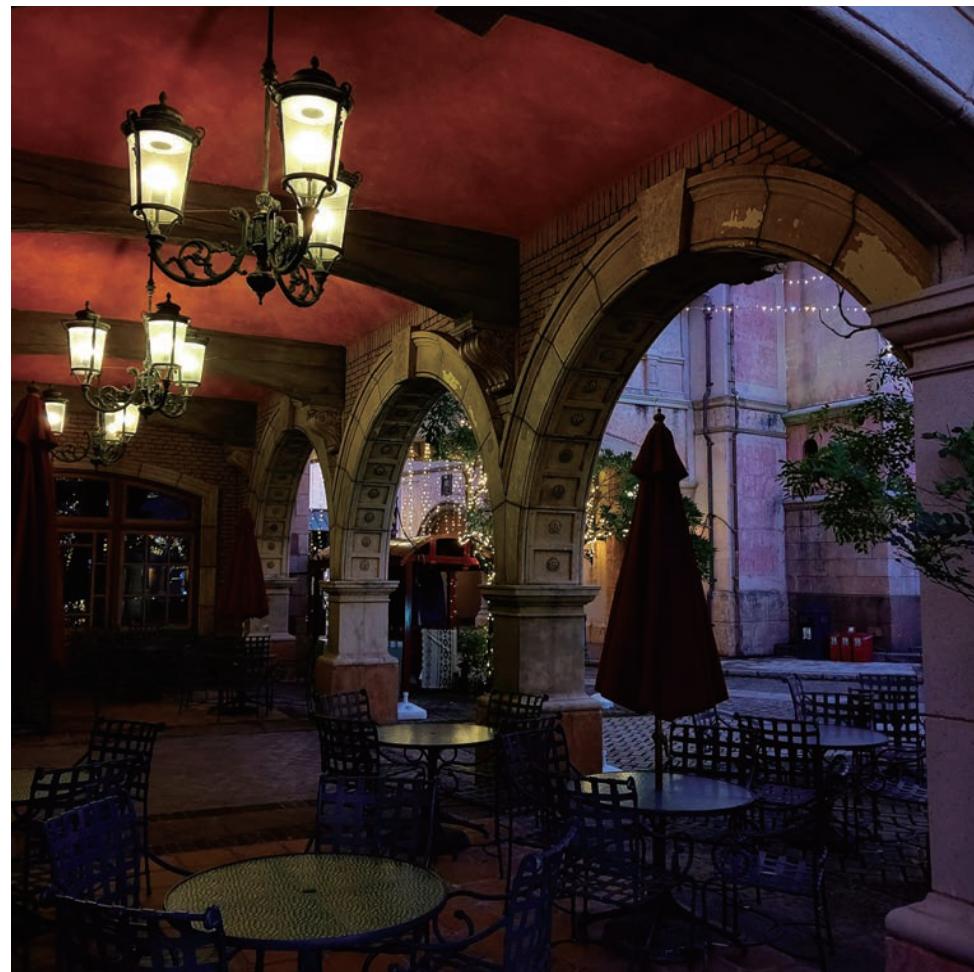
夜景で困るのが、ピンぼけと手ブレです。まず、ピンぼけを解消するには、固定焦点の広角カメラが最適です。また、シャッターボタンは力を入れすぎずに優しくタップします。そして、シャッター音(シャッター音はあくまで雰囲気)が鳴ってもすぐにスマホを動かさないようにするだけで、手ブレは軽減されます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード：AIオート／オート／マニュアル

* 作例で行った調整・操作：画面をなぞる明るさ調整(-1.17)

* 作例のカメラ設定：写真サイズ(広角:20.1M)／オートHDR(オン)



標準カメラ

薄暗い場面などの撮影では、標準カメラによるAIオートでの撮影がおすすめです。明るいレンズの標準カメラは、暗いシーンに強く、ピントも瞬時に合わせます。また、光学式手ブレ補正とAIによる被写体ブレ補正で、すぐに動いてしまうペットなどの撮影ではブレをおさえて撮影します。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード：AIオート

* 作例で行った調整・操作：画面をなぞる明るさ調整(-1)

* 作例のカメラ設定：写真サイズ(標準:12.2M)／オートHDR(オン)



 **標準カメラ**

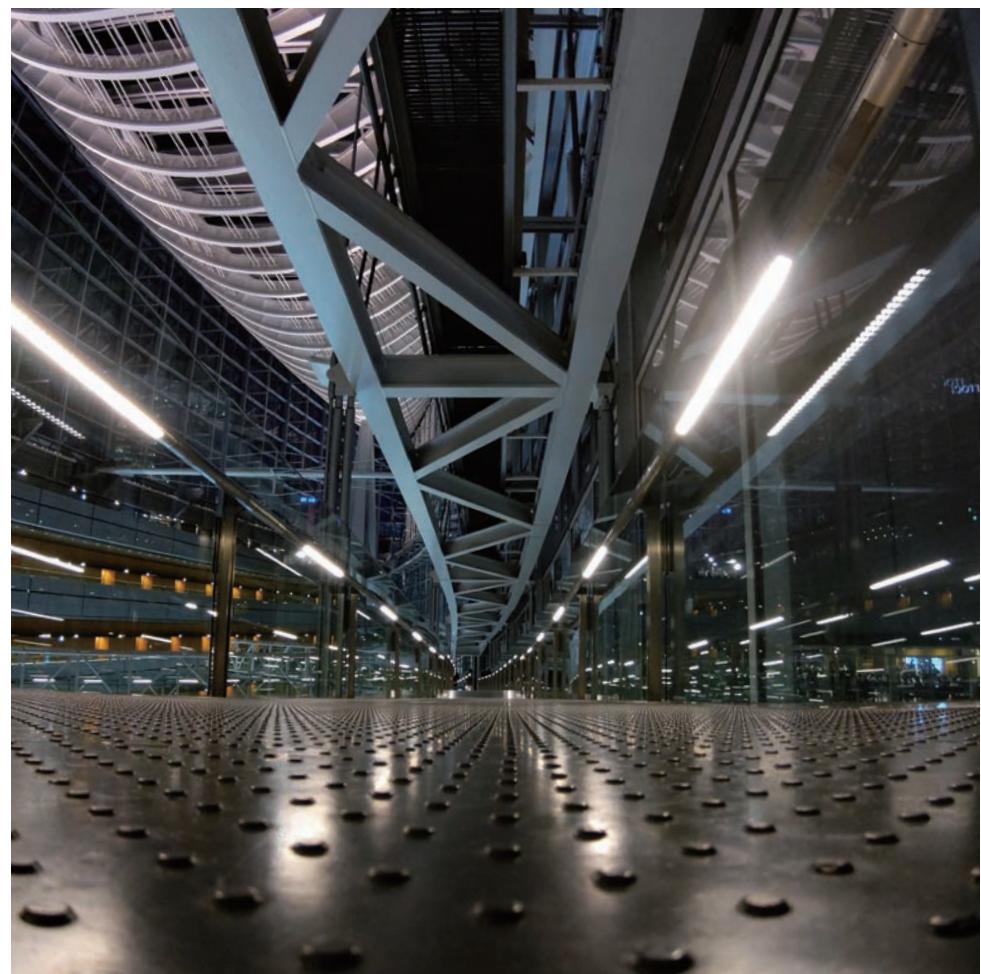
標準カメラは、撮りたいものに近づくほど背景がぼけて、立体感のある写真が撮れます。背景だけでなく手前のぼけも表現したい場合は、さらに被写体に近づき、ピントの合う位置を後ろにずらします。手前もぼけることで、ピントが合っている場所がより際立ちます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード：AIオート／オート／マニュアル

* 作例で行った調整・操作：画面をなぞる明るさ調整(-1)

* 作例のカメラ設定：写真サイズ(標準:12.2M)／オートHDR(オン)



 **広角カメラ**

スマホを上下逆に持ち、カメラが下になるようにして、本体をほぼ地面につけ撮影します。そうすると、立った状態の撮り方とは違う、手前の地面がぼけた写真が撮れます。広角、標準どちらのカメラでも撮影できますが、普通の撮り方ではぼけ味を表現できない広角がおすすめです。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

* 撮影可能なモード：AIオート／オート／マニュアル

* 作例で行った調整・操作：画面をなぞる明るさ調整(-1)

* 作例のカメラ設定：写真サイズ(広角:20.1M)／オートHDR(オン)

背景をぼかしたポートレート

How to use
the Camera and Shoot **09**



標準カメラ 広角カメラ

ポートレートは背景がとても大切です。背景をぼかさない場合であっても、シンプルな壁などを背景にした場合と、いろいろなものが写り込んだ背景では、写りも印象も違います。背景をぼかすことができれば、背景の印象が薄れ、主役の人物が引き立てられます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

- * 撮影可能なモード：ポートレート
- * 作例で行った調整・操作：スライダーの○をドラッグしてぼかし量を調整(3)
- * 作例のカメラ設定：写真サイズ(標準:12.2M)

メイク感覚のAQUOS beauty

How to use
the Camera and Shoot **10**



サブカメラ(セルфиー用)

画面を見ながら「美肌」「小顔」、肌の「色合い」「明るさ」「目」の大きさをメイク感覚で調整できます。カメラを再起動しても設定はそのまま。自分に適した効果で、いつでも撮ることができます。また、メインカメラ(広角/標準)のポートレート同様に、背景のぼかし具合も同時に調整できます。

CAMERA SETTING & PHOTO DATA

- * 撮影可能なモード：オート
- * 作例で行った調整・操作：AQUOS beauty(オン)／ぼかし量(4)
- * 作例のカメラ設定：写真サイズ(サブカメラ:8M)

2つのカメラを使って

動画を撮りながらAIが写真を自動撮影



④ 広角カメラで動画を撮影しながら、AIが被写体を認識して、⑤ 標準カメラで写真を自動撮影するAIライブシャッターは、2つのカメラを使って写真と動画を同時に撮れます。また、写真撮影では、構図を自動的に判断し、補正します。



広角カメラで動画撮影



広角カメラ (動画撮影) +



標準カメラ (写真撮影)



④ 録画開始

AIがシャッターチャンスを判断



AIが写真を自動撮影



AIがシャッターチャンスを判断

AIが写真を自動撮影



このアイコンが画面に出たら
ダイジェストの準備完了

AIがシャッターチャンスを判断

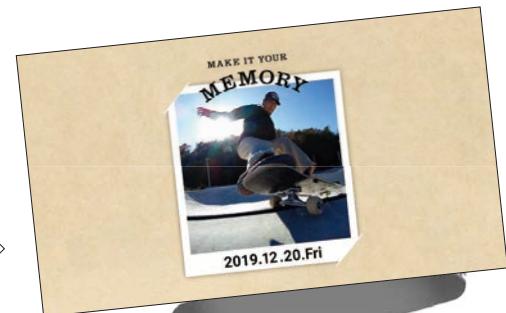
AIが写真を自動撮影



AIが動画を
自動編集



録画停止



パターン1: Standard (自動保存)



パターン2: Fun (任意で保存)



パターン3: Relax (任意で保存)



標準カメラでAIがシャッターチャンスを判断して
写真を自動撮影 (手動シャッターでの撮影も可能)

AIの自動撮影では、構図を判断して
自動補正します (手動の場合は補正なし)

AIが構図自動補正

point

撮影のポイント

録画時間は、最低でも1分以上を目安にしましょう。アングルを工夫したり、引いたり寄ったり、時には先回りして被写体を待ってみたりしましょう。なるべく、同じ場所からの定点撮影ではなく、場面の転換を考えながら撮影してみましょう。場面がいろいろ変わることで面白いムービーになります。

自分が意図したダイジェストにするコツ

AIライブストーリーは、AIが写真を自動撮影したタイミング、被写体や場面転換などに応じて編集点を決めています。この編集ポイントを自分の意図に近づけるためには、録画しながら「写真撮影ボタン」を押して写真を撮影します。AIは、写真撮影されたタイミングを編集点として優先します。

使い方は
PHOTOSHOPで



パケット通信料が
かかります

カメラマニュアル

ホーム画面 > カメラ



ビデオ



写真



スロービデオ



タイムラプス



カメラは写真以外に3種類の動画モードにスワイプによって切替えられます。動画は通常の動画(ビデオ)以外に、スローモーション(スロービデオ)とタイムラプスの撮影が行えます。写真、動画、タイムラプスは、広角カメラと標準カメラの2種類を使用できますが、スローモーションは、標準カメラのみ使用できます。

前面のカメラ切替え



サブカメラ(前面)



広角カメラ(背面)



標準カメラ(背面)

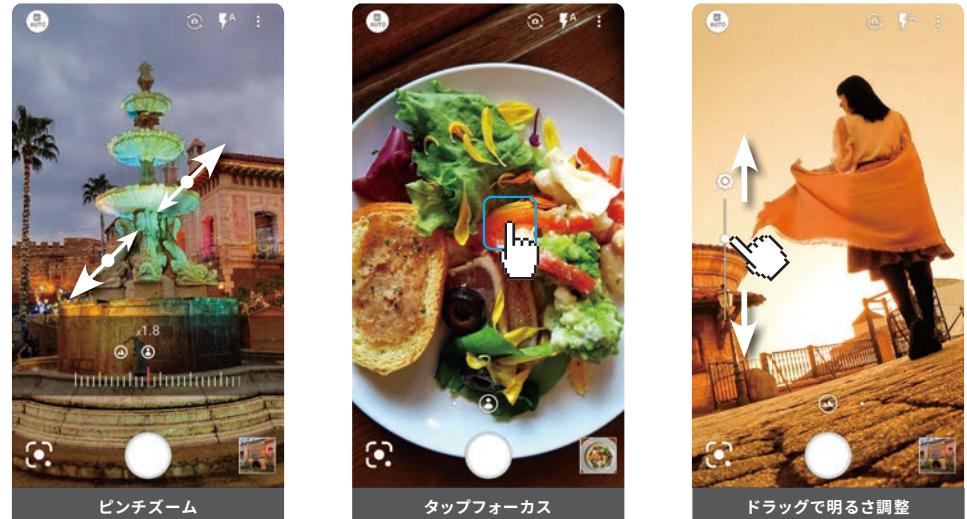
背面のメインカメラと前面にあるサブカメラの切替えは、撮影画面右上の④をタップします。

④ 広角カメラ(上のカメラ)と ⑤ 標準カメラ(下のカメラ)の切替えは、④⑤アイコンまたは、横にある ● をタップします。ピンチを使ったズーム操作でも切替えることができます。

ズームをする



ピンチズーム



タップフォーカス



ドラッグで明るさ調整

2本の指を広げたり、縮めたりするピンチで行います。指を広げると拡大、指を縮めると縮小します。

意図した場所にピントを合わせる場合、画面をタップします。同時に明るさも調整します(標準カメラのみ)。

画面に触れ、指でなぞると、明るさ調整バーが表示されます。そのまま画面をなぞる(ドラッグする)と、明るさを調整できます。

カメラの設定変更



画面右上の④をタップして設定を開きます。サイズや撮影について設定できます。共通は、撮影モードにより設定できる項目が異なります。画面は標準カメラのマニュアルモード時。



右下の画像をタップすると、「Google フォト」に移動し、確認、編集、削除ができます。

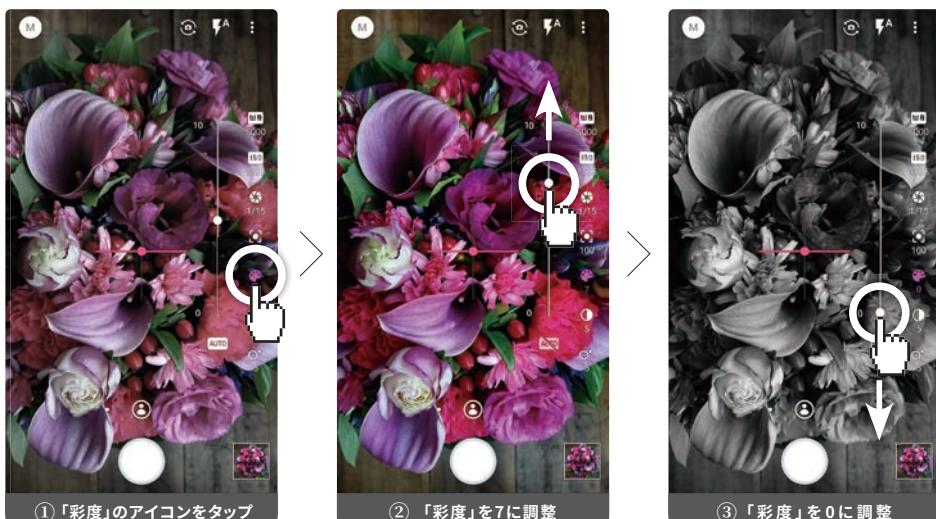
撮影データを見る

撮影モードの変更方法 (例: AIオートからポートレートへ変更)



①撮影画面左上の丸い アイコンをタップします。②撮影モードメニューで変更したいモードをタップして選択すると、撮影モードが変更されます。③撮影モードメニューは写真、動画、サブカメラ(セルфиー用)で、選択できるモードが異なります。

スライダーを使った設定の調整方法 (例: マニュアルでの 彩度調整)



①調整したいアイコン(ここでは 彩度)をタップするとスライダーが表示されます。②③「○」をドラッグして調整すると、効果が変化します。調整結果は保存され、カメラを再起動しても同じ設定で撮れます。

camera function

icon list

共通のアイコン

カメラ切替え 画面側の「セルフィー用サブカメラ」と背面の「メインカメラ」の切替えをします	明るさ調整 画面をなぞると表示され、明るさを調整できます
モバイルライト・フラッシュ フラッシュ(動画はライト)の設定をします	セルフタイマー(要設定) 5秒/10秒を設定できます。カメラ設定から表示を設定します
カメラ設定 撮影サイズ等の設定をします	
AIオート	Google レンズ 画像検索を行う Google レンズを起動します
AIの被写体認識マーク AIが撮るものを認識した際に表示されます	
人 犬 猫 料理 花 夕景 花火 QRコード 白板	
ポートレート メインカメラ(広角/標準) オート サブカメラ(セルфиー用)	
背景のぼかし量 背景のぼかし量を10段階で設定します	
オート サブカメラ(セルфиー用) ※アイコンを表示するには、画面右にある<(横位置の場合は上のV)>をタップします	
設定と解除 AQUOS beautyの設定と解除	小顔効果 顎のラインを細くします
美肌効果 肌を滑らかにします	肌の色合い 赤みを足して顔色を調整します
M マニュアル メインカメラ(広角/標準) / サブカメラ(セルфиー用) / 動画	顔の明るさ 肌の色を明るくします
個別AE/AF 画面にタップすると表示されます。ピント(□)と明るさ(AE)を個別に移動させることができます(広角カメラはAEのみ)	目の大きさ 目を大きくします
白とび/黒つぶれ表示 明るいとびでしている部分、暗すぎて黒つぶれしている部分に表示されます。画面上の表示のみで、撮影データには写りません	水準器 「○」は垂直、「横ライン」は水平の二軸の水準器。カメラ設定で非表示にすることもできます
ホワイトバランス 色味を変更できます。数字が大きいほど赤みが増し、小さいほど青みのある写真になります	
ISO感度 数字を小さくすると画質は向上しますが、暗所では手ブレを起こしやすくなります	シャッター速度 (ビデオは使用不可) 残像を撮るような場合は速度を遅く、弾ける水滴を撮るような場合は速度を速く設定します
フォーカス (ビデオ/サブカメラ/広角カメラでは使用不可) 四角の枠内の赤く表示される「ピーキング表示」をガイドにし、マニュアルでピントを合わせます	彩度 数字が大きいほど色が濃く鮮やかになり、小さいほど色が薄く、0になると白黒になります
コントラスト 数字を小さくすると、フワッとした印象に、大きくすると、くっきりとメリハリのある写真になります	明瞭度 数字が小さいほどノイズが目立たなくなり、数字が大きくなるとシャープに写すことができます
動画共通のアイコン	
風切り音低減の設定 風がマイクにあたって発生するノイズ(風切り音)を軽減してくれます(タイムラプスでは使用不可)	レンズゆがみ補正 (サブカメラ/標準カメラでは使用不可) 広角カメラでの撮影時に表示。レンズのゆがみ補正の効果を0~100で調整(スロービデオは標準カメラのため使用不可)
オート 動画	
AIライブシャッター オンの時、動画撮影中にAIが写真を自動撮影します	ダイジェストムービー(AIライブストーリー) ダイジェストムービーの作成準備ができた場合に撮影画面に表示されます
AIライブストーリー オンの時、ダイジェストムービーを作成します	
スロービデオ 動画	タイムラプス 動画
撮影コマ数の設定 1秒間に撮影するコマ数を240fps(コマ)または120fps(コマ)に設定できます	タイムラプス設定 撮影間隔と録画の開始・終了の設定をします

display & sound

AQUOS zero2 display & sound setup guide

自分に合わせた使いやすさ "画面と音に関する設定ガイド"



DISPLAY TIPS

自分に合った画面操作に

設定 > システム > 操作 > システムナビゲーション



3ボタンナビゲーション



これまでと同じ使い勝手

3ボタンナビゲーションは、これまでのAndroid™を使ってきた人で、◀(1つ前に戻る)●(ホーム画面・長押しでGoogleアシスタントの起動)■(使用アプリの履歴と切替え)今まで通りの操作感で使いたい人向き。ロック画面にカメラ起動用のアイコンがあるのも特徴です。



ジェスチャーナビゲーション



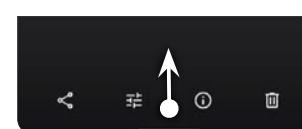
片手操作に適した操作性

1つ前に戻る、ホーム画面、使用アプリの履歴と切替え、Googleアシスタントの起動といった操作を、画面をスワイプすることで行えます。片手での操作に適したナビゲーションです。



Googleアシスタントを起動

画面下の角を始点に斜め上方向にスワイプ。



ホーム画面／アプリ切替え

画面を上方向に軽くスワイプしてホーム画面、上へドラッグして指を離すと使用アプリの履歴と切替え。



1つ前に戻る

画面左右どちらかの縁を始点に内側方向にスワイプすると1つ前に戻る。

動画観賞に適した設定に

ホーム画面 >  AQUOS便利機能 > リッチカラーテクノロジーモバイル



※ ハメコミ合成の画像はイメージです。

基本設定で画質を好みに合わせて設定



使用するアプリに応じて、最適な画質に切替える設定。



色や階調のバランスがとれた汎用性の高い画質の設定。



ご家庭にあるテレビのように、色が濃く鮮やかでくっきりとした画質にする設定。



アプリを使った画像の編集やネットでの買物など、正確な色を確認する場合に適した設定。

HDR動画設定をチェック



視聴する動画コンテンツがHDR対応動画の場合の画質の設定ができます。画質選びにあたっては、映像の暗い部分の見え方や色の鮮やかさを基準に好みの画質に設定してみましょう。また、HDR対応していない動画についても、バーチャルHDRを設定すると、HDRのような画質に近づけられます。



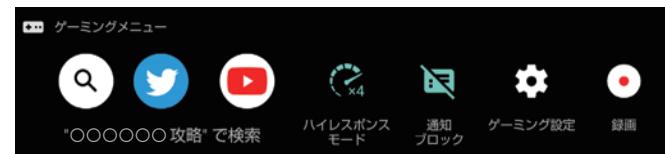
ゲーミングメニューと設定

ホーム画面 >  AQUOS便利機能 > ゲーミング設定



※ ハメコミ合成の画像はイメージです。

クイック設定パネルと一緒に表示されるゲーム専用メニュー

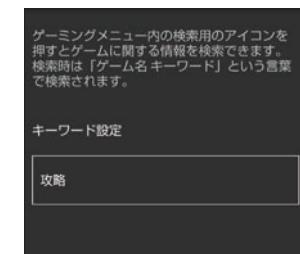


* アプリ側の仕様により、プレイの録画ができない場合があります。

* 録画時間は、最長3時間です。

ゲーム中の通知ブロック設定、プレイ画面の録画*、攻略に関する検索などをワンタップで素早く行えます。画面上部を始点に下方向にスワイプすることでゲーム中いつでも表示できます。

ゲーミング設定



ゲーミング設定では、検索やプレイ録画などのゲームに関する便利機能をはじめ、画質やパフォーマンスに関する設定を行えます。

ハイレスポンスマード*

ゲームの勝敗にも大きな影響を及ぼす表示速度やタッチ性能を向上させ、高速な表示と機敏なタッチ操作が可能になります。

検索設定

検索のキーワードを設定できます。検索時はキーワードの前にゲーム名が自動的に入ります。



録画設定

プレイ録画の画質と録音に関する設定を行えます。実況を行う際は、本体マイクを使用します。

* スマートフォンのディスプレイにおいて、ハイレスポンスマードをONにすることにより毎秒120回の表示更新に連動して間に黒画面を挿し、OFF時(毎秒60回表示状態が変化)の4倍の毎秒240回の表示状態の変化を実現。アプリ側の仕様により、4倍速(240Hz)表示にならない場合があります。

写真の加工や編集などに適した設定

設定 > ディスプレイ > 詳細設定



画像編集は、ディスプレイの色(画質設定)と明るさの設定がとても大切

写真や画像を加工するうえで、明るさ、コントラスト、色に関する調整は基本です。これらを調整するにあたって、ディスプレイの設定が画像編集に適していない状態で調整してしまうと、環境の違うスマホやPC、写真プリントなどで、編集意図と違った仕上がりになってしまいます。

画像編集に適したディスプレイ設定



画像の明るさ調整を行うために、「明るさのレベル」は90%以上にし、「明るさの自動調節」「アウトドアビュー」を解除します。色やコントラストの調整のために、「基本設定」を「ナチュラル」にし、「はっきりビュー」も解除しておきます。

逆光や日差しの下でも画面を見やすく

アウトドアビュー



アウトドアビュー: オフ

スマホを使用している環境の光と、画面上に映し出された映像や写真の明るいところと暗い部分を判断し、日中の強い日差しや逆光でも、画面が暗くならないように明るさを調整します。

ホーム画面 > AQUOS便利機能 > リッチカラーテクノロジーモバイル

就寝前や目の疲れが気になるときに

リラックスビュー



ブルーライトをおさえた目にやさしい画質に設定することができます。任意の時刻の設定、日の入りから日の出までの時間を自動で切り替える設定もできます。リラックスビューは、寝付きがよくなる効果も期待できます。



クイック設定パネルで設定と解除、長押しで詳細設定。

ホーム画面 > AQUOS便利機能 > リッチカラーテクノロジーモバイル

画面をなぞるだけでスクショ

Clip Now



本体の上(または側面)の縁をなぞるだけで、スクリーンショット(画面の保存)を撮ることができます。Clip Now 以外の方法として、電源キーを長押しして表示される電源メニューの「画面の保存」と本体側面の「音量ダウンキー」と下の「電源キー」を同時に長押ししても行えます。スクリーンショットが保存されると通知され、保存された画面は「Google フォト」で確認できます。

ホーム画面 > AQUOS便利機能 > Clip Now

長いページをらくらく流し見

スクロールオート



WebサイトやSNSを閲覧中、画面をゆっくり上下にスクロールし、表示される矢印の上で指を離すと、自動で画面スクロールを開始します。-+をタップすると速度を変えられ、楽に縦に長いページをチェックできます。設定では、スクロールオートを利用するアプリを選択することもできます。

ホーム画面 > AQUOS便利機能 > スクロールオート

画面内指紋認証で安全にすばやくロック解除

指紋認証



指紋認証を設定すると、ロック画面認証UIが表示され、本体を持ち替えたりすることなくロック解除が可能になります。画面ロックの設定をしていない状態で、指紋認証(顔認証)の設定を行う場合は、はじめに画面ロックの設定をする必要があります。

設定 > セキュリティ > 指紋

見やすくバッテリー消費もおさえられる

ダークテーマ



画面の背景を従来の白から黒にするのが、ダークテーマです。背景が暗くなることで、白背景よりも画面の発光がおさえられます。長時間の使用や暗い場所での利用でも目が疲れにくく、バッテリーの節約にもつながります。画面の眩しさやバッテリー持ちを気にして、画面の明るさ調整を暗めにして使用してきた人には、ダークテーマはおすすめです。

設定 > ディスプレイ > ダークテーマ

スリープ状態でも時刻を表示

画面消灯時の時刻と通知アイコンの表示



画面が消灯しているスリープ状態でも、日付と時刻、バッテリー残量、通知アイコンを一定時間表示させておくことができます。本体を持ち上げるか電源キーを押すことで、スリープ状態が解除され画面が点灯します。ロック画面の表示設定では、表示する情報や表示するタイミングなどの設定が行えます。

設定 > ディスプレイ > 詳細設定 > ロック画面の表示

縦スクロールのみのかんたん操作

かんたんモード



はっきりビュー: 輝度・コントラスト・彩度を調整して見やすい画面に
おはようございます。明日の同窓会楽しみですね。待ち合わせは駅前でお願いします。

フォントサイズ(特大): 文字が大きく見やすくなります



S-Shoin一括シンプル切替: キーボードがはっきり見やすくなります

ホーム画面 > AQUOS便利機能 > かんたんモード

Dolby Atmos®

設定 > 音 > 詳細設定 > Dolby Atmos®



コンテンツや好みに合わせて設定

①プリセット設定

ご購入時は、ダイナミックに設定されています。コンテンツを識別、判断して自動的に設定を調整します。その他に、ダイアログエンハンサーを調整できる映画、インテリジェントトーンがある音楽、すべてを自分で設定できるカスタムがプリセットで用意されています。



クイック設定パネルで設定と解除、長押しで詳細設定。



②グラフィックイコライザー

自分の好みの設定を音域ごとにドラッグして設定できます。左が低音域で右に行くほど高音域です。

③インテリジェントトーン

ライト、バランス、ウォーム、効果なしのイコライ징プリセットから設定を選択することができます。

④ダイアログエンハンサー

映画など、人物の音声(台詞など)を聞き取りやすくする機能の強弱を調整します。強弱を調整してしまうため、音楽再生には適しません。

ハイレゾ音源の再生



ハイレゾ(音の解像度が高く高音質なデジタル音源)音源を再生するには、ハイレゾに対応した再生機器が必要です。ハイレゾオーディオでの再生を行いたい場合は、事前に Dolby Atmos® をオフにしてください。

●ドルビービジョン、ドルビーアトモスの視聴にはドルビービジョン、ドルビーアトモス対応コンテンツが必要です。●ドルビーアトモスを有効にすると、ドルビーアトモス対応コンテンツ以外のメディア音などにもオーディオエフェクトがかかるようになります。●ハイレゾ音源を楽しむには、ハイレゾ対応のイヤホン、ヘッドホン(別売)やスピーカー(別売)が必要です。

イヤホンや周辺機器を接続する

Bluetooth® 対応機器とのペア設定



Bluetooth® 対応のイヤホンやヘッドフォン、スピーカーを使用するには、あらかじめ AQUOS zero2 とペア設定しておく必要があります。一度接続すれば、クイック設定パネルの  からワンタッチで接続と解除ができます。「接続の設定」から、NFC/おサイフケータイ®、キャスト、印刷の設定も行えます。

設定 >  接続済みのデバイス > 新しいデバイスとペア設定する

大画面のテレビなどに画面を映し出す

キャスト



設定 >  接続済みのデバイス > 接続の設定 > キャスト

データのバックアップと引き継ぎ

データお預かり

データお預かりは、連絡先などのアドレス情報や写真、動画、ID・パスワードなど、機種変更時のデータ移行や故障、紛失時のデータ復元に大変便利で安心なサービスです。AQUOS zero2 の前の機種で、データお預かりを設定しているお客様は、こちらをご利用ください。

ホーム画面 > アプリ一覧 > サポート >  データお預かり

使いこなしに役立つ情報

SHSHOW

AQUOSの使いこなし情報やサポート情報を知りたいときや何か困ったことがあったら、SHSHOWを利用しましょう。知りたい情報はもちろん、ライブ壁紙やスタンプ絵文字などのメール素材、着信音などにも使えるサウンド、電子書籍などのコンテンツを無料でご利用できます。

ホーム画面 >  SHSHOW

AQUOS zero2 についての質問

よくあるご質問

使いかたや機能、用語についてわからないことがある場合は、「よくあるご質問」が便利です。キーワードを入力すると、AQUOS zero2 に関する質問の答えが検索できます。

設定 >  お困りのときは > よくあるご質問

スマホの調子がおかしいと思ったら？

セルフチェック

セルフチェックは、端末の症状または診断したい箇所からチェックできます。具体的な症状がはっきりしている場合は「症状から選ぶ」を、特定の機能についてチェックしたい場合は「診断したい箇所を選ぶ」から行います。チェックした内容は、端末のトラブル時、症状を説明する場面でとても役立ちます。セルフチェックは、電源キーの長押しで表示される電源メニューにある「故障かな？と思ったら」からも行えます。

設定 >  お困りのときは > セルフチェック